

市長ひとこと特別編

## チャタヌーガレポート-前篇-

市は、昨年姉妹都市締結を結んだチャタヌーガ市へ1月9日～14日まで公式訪問団を派遣。訪問団の現地での様子を紹介します！



上/チャタヌーガ市役所で温かな歓迎を受けました  
右/パーク市長に当矢を贈呈

## 温かいおもてなしに感激

成田空港からアトランタを経由し、チャタヌーガ空港へ。延べ14時間のフライトの旅になりました。新田勝見議長、菅沼隆子教育文化振興財団副理事長、鈴木惣喜総務部長、糠森千明主任のほか現地で合流した『遠野物語』英訳者で遠野文化賞受賞者のロナルド・モース先生の6人で訪問し滞在。3日間で、チャタヌーガ市役所、市内施設やCSAS校・CSLA校などを訪問。姉妹都市協会カレン会長やスタッフ、長年遠野の生徒を世話してきたルイーザ先生をはじめ、チャタヌーガ市民による心のこもったおもてなしを受けてまいりました。

初日の歓迎夕食会には、昨年9月に姉妹都市締結のため来遠されたアンディー・パーク市長、杵淵在ナッシュビル総領事など多くの関係者が出席。会場は大いに盛り上がりました。途中、パーク市長から散歩のお誘いをいただき、通訳のラモン悦子さんと3人でテネシー川沿いを歩きながら、民間活力、公共事業へのアプローチ、環境問題などについて意見を交わしました。パーク市長は「遠野まつりの地域一体となったイベントには感動した！ 多様な宗教、人種、文化、歴史の違いがあるチャタヌーガでは、あの一体感を作るためには長い時間が必要」と語ってありました。市民が主体となってまちづくりを進めるチャタヌーガ市。政策の基本は、丁寧な説明と我慢、辛抱、そして待つことが必要とも話されたときは、思わずパーク市長の手をしっかりと握りしめておりました。

宿泊先のホテルに戻ったのは23時過ぎ。心のこもった対応への感激と長旅の疲れで瞬間に眠りに入ることができました。

次号では交流の内容について報告します。

遠野市長 本田敏秋

1月8日 障がい者の成人を祝う会

## 家族らと成人を祝う

成人を迎えた障がい者やその家族を祝おうと、祝う会(市社会福祉協議会主催)を市総合福祉センターで開催。関係者ら70人が新成人の新たな門出を祝福しました。会場では、新成人を囲んでの食事会やゲーム大会が行われたほか、新成人たちの思い出の写真を音楽にのせて上映。参加者は、交流を楽しみました。



新成人を祝い、交流を楽しみました

1月8日 市交通指導隊、防犯隊の初点検式

## 安全安心なまちづくりを誓う

あえりあ遠野で行われた、それぞれの初点検式には、市交通指導隊(小水内秀一隊長)21人と、市防犯隊(菊池正司隊長)29人の隊員が集結し、地域の安全と安心を守ることを決意しました。両隊の隊員は、市長から服装や手帳、警笛などの装備品の点検を受け、統制の取れた動きで、本年の活動への意欲を示しました。



点検を受ける防犯隊と隊長の指示で整列する交通指導隊

1月17日 初期消火と救護に協力

## 施設職員の菊池さんに感謝状



初期消火と救護に尽力した菊池さん

勤務中に発生した火災で、消火などを行ったとして、菊池峰子さん(ふれあいホーム業研淵職員)=40歳、青笹町=に市消防本部から感謝状が贈られました。1月10日、菊池さんは施設の利用者を送迎中に、利用者宅の火災を発見。迅速に初期消火を行い、体調不良でその場から動けなくなっていた利用者の家族を救護しました。

12月21日 あいおいニッセイ同和損保と協定締結

## 地方創生に向け官民連携

市は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(東京都、金杉恭三社長)と地方創生の連携に関する協定を締結しました。締結式は市役所本庁舎で開かれ、本田市長と吉田靖之常務は固く握手しました。同社は今後、市保育協会の研修会に講師を派遣するなど、本市の地方創生に向けた取り組みを支援します。



本田市長と協定書を交わす同社の吉田常務

12月24日 遠野一輪車クラブ発表会

## 華やかな演技で観客魅了

全国トップクラスの実力を誇る遠野一輪車クラブスポーツ少年団は、1年の活動を締めくくる発表会を市民センター大ホールで開催しました。ソロ、ペア、グループに分かれ21演目を披露。音楽に合わせて、情熱的でダイナミックな演技が繰り広げられると、観客は、団員たちに大きな拍手を送りました。



全国トップクラスの演技は圧巻

1月20日 市健康づくり総合大学「とすぼ大学祭」開催

## テーマに合わせ3教室を開催

大学祭では、バレーボール教室とタニタの健康セミナー、キッズ運動教室を市民体育館などで開催。子どもからお年寄りまで計230人が参加し、それぞれのテーマに合わせた教室で汗を流しました。

バレーボール教室では、元女子日本代表の横山雅美さんが熱血指導。参加した市内外の小学生50人は、レシーブやトスなど、バレーボールの基礎を楽しく学

びました(1)。健康セミナーでは、榎タニタヘルスリンクの管理栄養士・堀越理恵子さんが講演(2)。市民ら120人が参加し、食事と運動の大切さについて理解を深めました。また、キッズ運動教室では、親子が楽しく運動に取り組みました(3)。

同日は、市民体育館のトレーニング室を無料開放。冬場の運動不足を解消しようと、多くの市民が訪れました。

11月24日 消防機械器具配置式

## 有事に備えて新たに配置

配置式は市総合防災センターで行われ、小型動力ポンプ2台と小型動力ポンプを積載した車両2台が新たに配置されました。式には、配置先の土淵町、青笹町、附馬牛町の消防団員27人が出席。本田市長から松田克之消防団長に配置書と車両の鍵が手渡されると、団員たちは活動への意欲をより一層高めました。



新たに配置された車両とポンプ

12月22日 無人航空機協定締結式

## 災害時のドローン活用を約束

市は、災害発生時に無人航空機(ドローン)を活用した情報収集を行うことを目的に、(株)栄組(上郷町)と協定を締結しました。締結式は市役所本庁舎で行われ、関係者ら30人が出席。この日は、災害対策本部運営訓練も併せて行い、無人航空機のデモンストレーションなどを通して有事の対応を確認しました。



握手を交わす佐々木孝彦代表取締役

